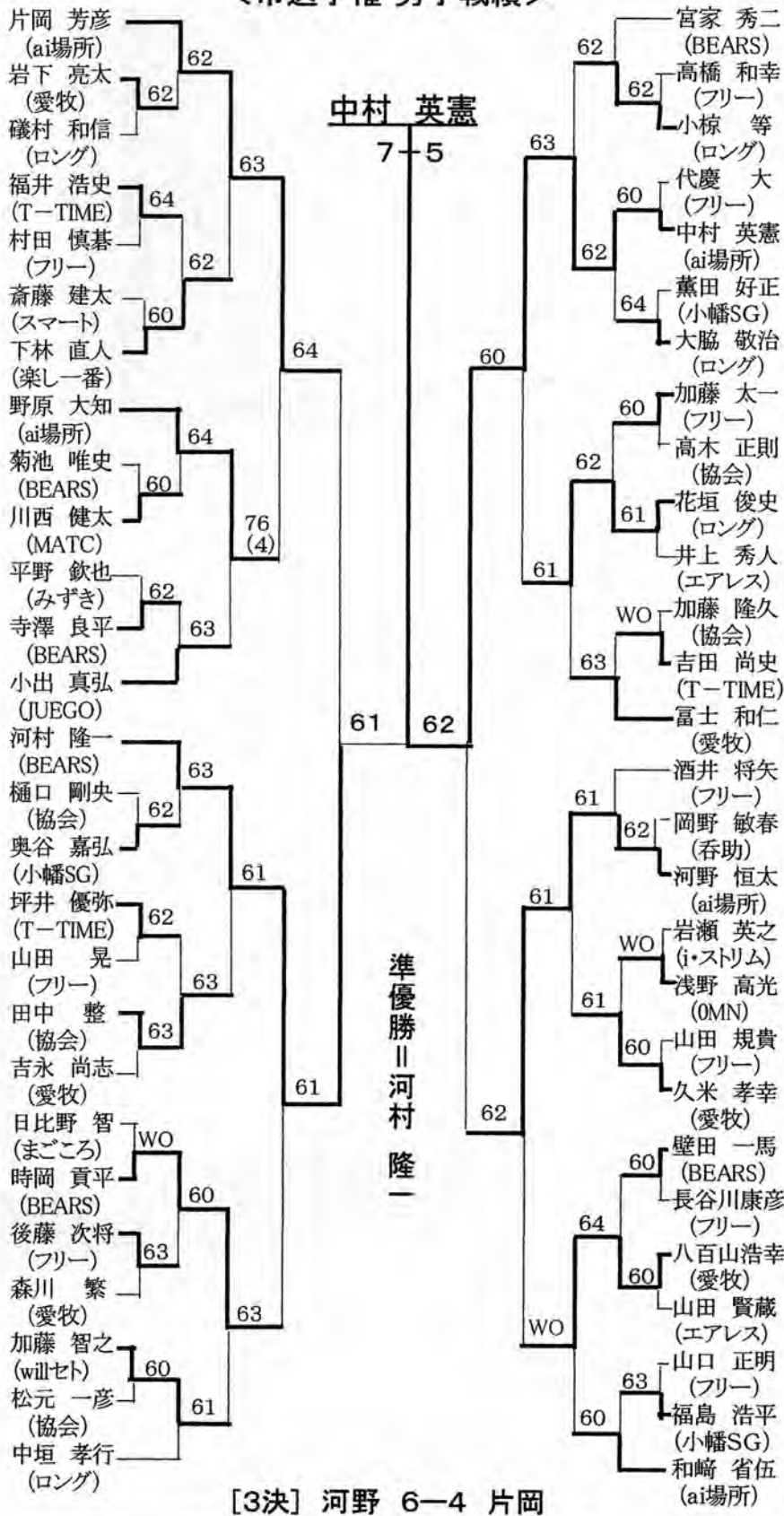
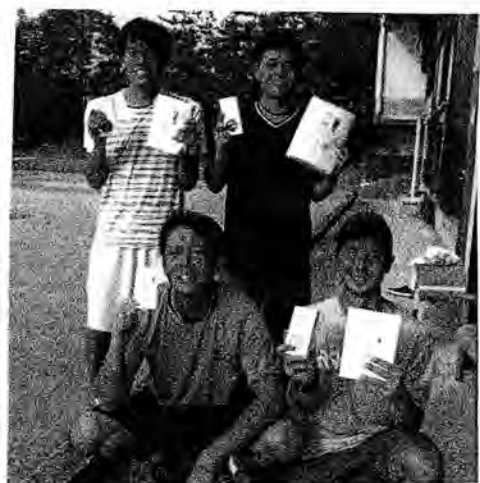


＜市選手権 男子戦績＞



[3決] 河野 6-4 片岡

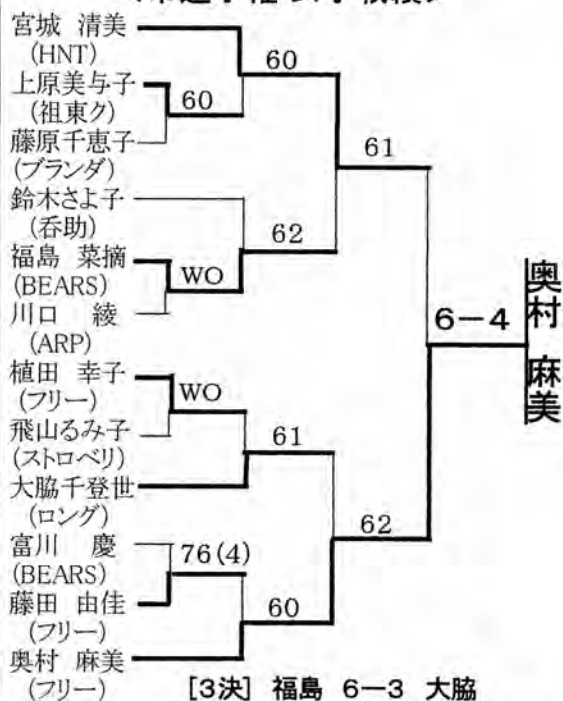
男子4強——優勝の中村(後右)、準Vの河村(後左)、3位の河野(前右)と片岡(前左)



女子4強——優勝・奥村(前右)、準V・宮城(前左)、3位の福島(後左)と大脇(後右)



＜市選手権 女子戦績＞



特別ルール「マスクOK」

8月最終週。暑い。日陰の本部席も扇風機をかけて35度を超える。コート上は40度に迫るか。参加やや少なく、午後4時ころにはメドがついた。延長用のコートはキャンセル。コロナ対策のため「マスクOK」の特別ルール。応援席も少々静か。

河村に不覚を取った片岡と、中村に敗れた河野の3決は熱戦の末、河野が6-4で競り勝った。過去3度優勝の富士は3回戦で完敗。加藤智之も3回戦で敗れ足ケイレン。18年覇者・和崎は利き手指を痛め3回戦を棄権。高木亘紀、小林雄太は欠場。

女子3位
福島、大脇
 宮城に屈した福島と、奥村に敗れた大脇の3決は、動きと攻めの福島が6-3で大脇を破った。優勝候補の川口、飛山はWO。

過去5連覇の浦野、V候補の一角・磯村千沙子は欠場。

男子3位

河野、片岡

今季の練習会

(市民公園Aコートでナイター)

- 9月16日(水) 2個面 19時~21時
 - 19日(土) 3個面 17時~21時
 - 10月7日(水) 3個面 19時~21時
 - 10日(土) 3個面 17時~21時
 - 14日(水) 3個面 19時~21時
 - 17日(土) 3個面 17時~21時
- (本年度これにて終了)

ルール講習会

南が丘コートで11月15日(日)
午前9時から午後1時まで

今後の日程

★ レディースチャレンジ大会

第14回。10月7日(水)、市民公園Aで午前9時から午後1時頃まで(午後5時までコート確保)。ダブルス。テニス教室受講者らが主対象。市内在住・在勤または協会員女性。先着32組募集。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。予備日=10月14日(水)。受付=9月2日~23日。9月1日付け広報掲載。

★ 秋季大会

10月4日(日)市民公園A・Bで午前8時30分~午後5時(午後7時までAコート3面。午前7時からコート使用可)。男女ダブルス1部・2部・壮年(男女とも50歳以上)。瀬戸市内在住または在勤者または協会員。学生は出場できません。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。先着合計120組募集。予備日=10月18日(日)。受付=9月2日~16日。9月1日付け広報掲載。

★ 瀬戸近郊高校学年別大会

10月31日(土)・11月3日(火)の2日間。市民公園A・Bで午前7時~午後5時。男女とも学年別シングルス、ダブルス。瀬戸近郊高校の1、2年生。参加費=1人800円。予備日=11月7日(土)。学校関係者に案内。

★ ベテラン年齢別大会

「壮年・レディース大会」を改称。11月22日(日)午前8時30分から市民公園A・Bで。ダブルス。男子=45歳以上の部・55歳以上の部、女子=40歳以上の部・50歳以上の部。予備日=11月29日(日)。瀬戸市内在住・在勤者または協会員。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。男女32組募集。受付=10月15日~11月4日。10月15日付け広報掲載。

会費振込口座

年会費の振り込みは次のいずれかの金融機関でお願いします。
◆瀬戸信用金庫 店名=山口支店 店番=044 普通貯金口座番号=0852209 瀬戸市テニス協会
◆ゆうちょ銀行 店名=二〇八 店番=208 普通貯金口座番号=1411190 瀬戸市テニス協会

瀬戸地方高校新人戦

- ▽男子単
 - 優勝 平田 一陽(長久手)
 - 準優勝 小川 颯天(長久手)
 - 第3位 小島 魁晟(旭野)
 - 三田晃太郎(栄徳)
- ▽男子複
 - 優勝 瀧本良太・成瀬大登(旭野)
 - 準優勝 白石隼大・長瀬隆人(旭野)
 - 第3位 富田脩太・島田悠平(長久手)
 - 出嶋大喜・重松拓真(旭野)
- ▽女子単
 - 優勝 山田 優奈(旭野)
 - 準優勝 澤田なな美(聖霊)
 - 第3位 加藤妃奈乃(瀬戸西)
 - 畑野紗輝(旭野)
- ▽女子複
 - 優勝 横山若音・可児涼香(聖霊)
 - 準優勝 尾関果歩・松本成未(旭野)
 - 第3位 林 亜彌(長久手)
 - 宇佐美琴菜・平田倫(カピタニオ)



男子の表彰式。単優勝の平田(左)と、Bコートで続く女子単の熱戦(右)

盛夏の8月19日、20日の2日間開催。エントリーは男子単55人・複25組、女子単22人。男子単は長久手対決。平田一陽が小川に快勝。複は旭野・瀧本・成瀬組が白石・長瀬組を抑えて優勝。女子単は

男子単 平田 旭野 女子 山田が優勝

男子単 準々決勝以降



男子複 準々決勝以降



女子単 準々決勝以降



女子複 準々決勝以降



山田優奈(旭野)が初戦から1ゲ完勝。複は横山・可児組(聖霊)が尾関・松本組(旭野)に快勝。

士組が初V

<成績>

優勝

足立秀禎・富士和仁組
(チーム愛牧)

準優勝

岩下亮太・高木順組
(チーム愛牧・テニス協会)

第3位

富田賢二・高田武資組
(フリー)
股耀晨・山口嘉裕組
(フリー)

[2位グループトーナメント]

- ①山崎悟・山田裕二組
- ②稲垣将樹・江川竜二組
- ③金川誠二・尾崎直弘組
- ④池村征恵・斎藤建太組

[3位グループトーナメント]

- ①富田一行・大竹一之組
- ②梅村和久・伊藤奈穂組
- ③奥村慎二・小川由香子組
高木正則・樋口剛央組

<決勝トーナメント戦績>



足立・富士初V

岩下・高木組に6-4辛勝

第15回100歳ダブルスは9月12日(土)、市民公園で開催。出場は44組。男子複100歳・混合複90歳・女子複80歳以上が熱戦。4ゲーム先取・2戦の1次リーグの後、順位別トーナメント。1位トーナメントはペテランの足立秀禎・富士和仁組(チーム愛牧)が岩下亮太・高木順組(チーム愛牧・テニス協会)に6-4で競り勝って初優勝。2位トーナメントは山崎悟・山田裕二組(フリー)、3位トーナメントは富田一行・大竹一之組(フリー)が制した。

1次リーグを取りこぼさず1位通過した15ペア。女子複の宮城・森組、混合複の手嶋・磯村組、大脇夫妻の健闘が光る。1位トーナメントに入れなかった強豪、まさかの3位に甘んじた実力ペアも。1位トーナメント、過去3度優勝の股・山口組は手嶋・磯村組、下林・横山組に連続タイブレークと苦戦しながらも勝ち上がる。12年の覇者・富士は足立と組んで順当に勝ち進む。両者の準決勝は富士・足立の快勝。

過去3度Vの高木は岩下とのペアで4度目の優勝をめざす。宮城・森組、中垣・高塚組を退け、準決勝は若く破壊力十分の富田・高田に0-3の劣勢を挽回、6-4で勝って決勝へ。相手のダブルフォルトに助けられた。中盤以降の重

岩下組、苦しい準決勝を逆転

要なポイントほとんど取れたのがよかったと岩下。頂上決戦は足立・富士・岩下・高木。1ポイントを争う熱戦は互いに譲らず4-4。勝負どころ。ここから足立・富士が2ゲームを連取して初優勝を決めた。

3決 またタイブレ：疲れた

3決は股・山口・富田・高田。「足づり岬」を抱えながらこの日、股組は3度目のタイブレ。5-5から7-5で富田・高田が取り、「勝ち3位」を確保した。股・山口はトーナメント前半の2試合で力を使ったのが響いた。

強くなったね 伊藤ちゃん

2位グループトーナメント決勝は山崎・伊藤組が稲垣・江川組を破

えっへっへ

次は1位グループだ



2位グループトーナメント決勝で稲垣・江川組を6-4で下した山崎(左)・伊藤(右)組

100歳複 歴代の覇者

トーナメント初戦から6-2、6-1、6-0と快調な勝ち上がり。決勝も6-4で稲垣会長組を押し切った。写真におさまって会心の笑みを抑える。

富田、賞品手に安堵
3位トーナメント勝者は富田・大竹組。まさかの1次リーグ3位に沈んだ。このグループでは敵なし。6-1、6-1、6-1、6-0、6-1、6-0。得意のトップスピニングが威力。本部から賞品を受け取り、安堵の表情。

<100歳ダブルス戦績>

勝敗 順位

- [Aブロック]
 - 花垣俊史・中谷直子 1勝1敗 ②
(混 ロング)
 - 中西 輝・長江茂幸 0勝2敗 ③
(男 BRIO)
 - 磯村信芳・鈴木克史 2勝0敗 ①
(男 T-B)
- [B]
 - 佐藤正美・原川道隆 0勝1敗 ②
(男 フリー)
 - 殷 耀晨・山口嘉裕 1勝0敗 ①
(男 フリー)
- [C]
 - 川西秀夫・稲垣陽子 1勝1敗 ②
(混 MATC)
 - 梅村和久・伊藤奈穂 0勝2敗 ③
(混 MATC・丸新)
 - 中垣孝行・高塚敏夫 2勝0敗 ①
(男 ロング)
- [D]
 - 手嶋晋治・磯村千沙子 2勝0敗 ①
(混 丸新)
 - 岸田和代・社本 朗 0勝2敗 ③
(混 フリー)
 - 磯村和信・水谷千津留 1勝1敗 ②
(混 ロング)
- [E]
 - 加藤千里・梅田真智子 1勝1敗 ②
(女 BEARS)
 - 奥田幸一・笠井隆行 2勝0敗 ①
(男 フリー)
 - 外山三起男・黒野眞市 0勝2敗 ③
(男 みろく)
- [F]
 - 安田美菜・松岡晃司 0勝2敗 ③
(混 BEARS)
 - 桜井種生・豊田和久 2勝0敗 ①
(男 NAS)
 - 木部一哉・阿部栄寿 1勝1敗 ②
(男 UP)
- [G]
 - 富樫良治・黒瀬達也 2勝0敗 ①
(男 フリー)
 - 富田一行・大竹一之 0勝2敗 ③
(男 フリー)
 - 金川誠二・尾崎直弘 1勝1敗 ②
(男 フリー)
- [H]
 - 西田里奈・蜂谷有加里 1勝1敗 ③
(女 フリー)
 - 大脇敏治・大脇千登世 1勝1敗 ①
(混 ロング)
 - 石川 均・河村康之 1勝1敗 ②
(男 ロング)
- [I]
 - 奥村慎二・小川由香子 0勝2敗 ③
(混 ロング)
 - 福島浩平・加藤 勤 1勝1敗 ②
(男 TBM)
 - 酒井真樹・山本政巳 2勝0敗 ①
(男 T-B)
- [J]
 - 下林直人・横山昌平 2勝0敗 ①
(男 楽しいが一番)
 - 寺島浩一・伊藤一憲 0勝2敗 ③
(男 SLTC)
 - 稲垣将樹・江川竜二 1勝1敗 ②
(男 協会)

100歳
ダブルス

足立・富



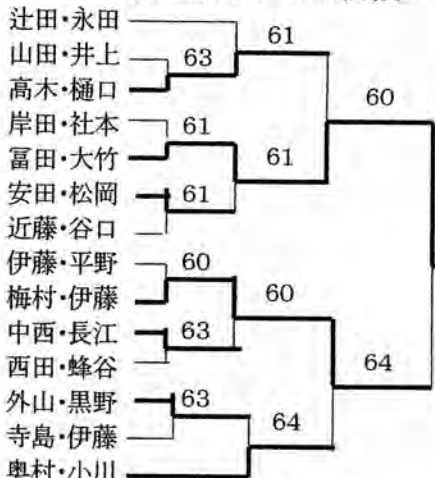
(前右)優勝した足立・富士組(前左、準Vの岩下・高木組
(後右)3位の富田・高田組(後左)と殷・山口組(後右)

- [K]
 - 山崎 悟・伊藤裕二 1勝1敗 ②
(男 フリー)
 - 伊藤 隆・平野欽也 0勝2敗 ③
(男 みずき)
 - 富田賢二・高田武資 2勝0敗 ①
(男 フリー)
- [L]
 - 山田賢蔵・井上秀人 0勝2敗 ③
(男 エアレスク)
 - 渋谷尚紀・近藤幸浩 1勝1敗 ②
(男 スマート)
 - 岩下亮太・高木 順 2勝0敗 ①
(男 愛牧・協会)
- [M]
 - 池村征恵・斎藤建太 1勝1敗 ②
(混 フリー)
 - 宮城清美・森みづほ 2勝0敗 ①
(女 HNT)
 - 近藤喜満・谷口元之 0勝2敗 ③
(男 BMC)
- [N]
 - 嶋 利男・川崎和子 1勝1敗 ②
(混 ロング)
 - 横尾和弘・杉浦敏光 1勝1敗 ①
(男 みろく)
 - 高木正則・樋口剛央 1勝1敗 ③
(男 協会)
- [O]
 - 辻田和子・永田恵子 0勝2敗 ③
(女 UP)
 - 大石 悟・五島美佐子 1勝1敗 ②
(混 ロング)
 - 足立秀禎・富士和仁 2勝0敗 ①
(男 愛牧)

<2位グループT戦績>



<3位グループT戦績>



※1次リーグは4ゲーム先取。各ペア2戦。3ペアが1勝1敗で並んだ場合は「得失ゲーム数」により順位を決定。

[3決] 奥村・小川 6-4 高木・樋口

2位GTは山崎・伊藤組
3位GTは富田・大竹組

大坂、2年ぶり女王

アザレンカを逆転

大坂2度目の優勝——全米女子単は大坂なおみがアザレンカ(ベラルーシ)を逆転して2度目のV。男子は第2シード・ティエム(オーストリア)がズベレフ(独)を下して逆転初優勝。アザレンカとの決勝。第1セットはフリーでミス、簡単に奪われる、第



優勝カップにキスする大坂

2セットも第2ゲームを破られる。第3ゲームをすぐにブレイクバックして立て直す。このセット中盤からは本来の姿に戻り6-3で奪う。最終セットは第7ゲームを破られたが、6-3で勝ち切った。大坂は1回戦で土居(ミキハウス)を6-1、2、5-7、6-1で下し、3回戦も突破。4回戦はコタベイトを、準々決勝はロジャース米をとともに6-1、3、6-4で退け、準決

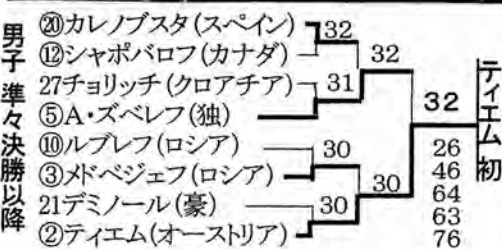
ティエムが初制覇

ズベレフに0-2から逆転勝ち

男子は準決勝でカレノプスタ(スペイン)を逆転した第5シードのA・ズベレフと、第3シード・メドベージェフ(ロシア)に快勝したティエムの初

0-2のズベレフに逆初優勝。男子を逆転、優勝したティエム

勝はブレイディ(米)に7-6、3-1、6-1、3で勝ち決勝進出。大坂は2年ぶり2度目の優勝。通算6勝目。賞金3億1800万円を獲得。ランクは3位にアップ。日比野、奈良は初戦負け。日比野菜緒(フランス)はムグルサネ(ペイン)に4-6、4-6で、奈良くるみ(安藤証券)はティグ(ルーマニア)に1-6、0-6で敗れた。



◆ドミニク・ティエム=オーストリアの27歳。ジョコビッチ、ナダル、フェデラーの3強に迫る1番手。4度目の決勝で悲願達成。2年連続準優勝の全仏で初Vと2連勝をめざす。

闘争心保つことできた

一問一答

決勝は激しい試合にだった？
「4大会の決勝だし、精神的にとっても大変だった。第3セットで相手にブレイクされた場面はナーバスになったが、勝ち切れてよかった。闘争心を保つことができた」

ツアー中断中の取り組みは？
「重要な数か月だった。前回優勝後は落ち着く暇もなかった。中断期間は多くのことを考える機会をもたらした。頭を切り替えて大会に入れた」

2度目のVでニュー大坂を見せられた？
「ニューなおみ、オールドなおみがいるかは判らないけど、自分を進化させることができた」

27日からの全仏へ向けて？
「この大会に来た時はプレーする気だったが、休みをとって、左太ももの様子を見てみたい」

西岡

マリーに逆転許す

西岡(ミキハウス)が元1位・マリー(英)に大逆転負け。第1、第7セットともに6-1で取って先行。第3、第4セットはタイブレ。第4セットの2度のマシチポイントを取りそこね、4時間39分の激闘を逃した。マリーは2回戦で敗退。



◆西岡の話は「ここっという時に思い切りが足りなかった。ランク算出法が変わり、昨年は無理して行かなくても思っていた。欧州につながる試合かな。上々の出だした」

日本男子、初戦で全滅

日本の内山靖崇(積水化学)は初戦、カレノプスタ(スペイン)にフルセットで競り負け。添田豪、杉田祐一、ダニエル太郎も敗れ、単日本勢は1回戦で全滅した。複のマクシララン(勉・パンブリッジ(英)組も初戦負け。

ジョコビッチ危険行為で失格



ボールが当たった審判に駆け寄るジョコ

ジョコビッチとカレノプスタの4回戦第1セット、ジョコはサーブを落とした直後、後ろ向きに打ったボールが女性審判のノドを直撃、審判は倒れ込んだ。ジョコはすぐ謝罪したが、審判団協議の結果、危険行為で失格。4回戦進出の賞金2650万円は没収、186万円の罰金と会見拒否の報い。

ム(3-5)から諦めずタイブレに。最後はズベレフのバックが外れた。4時間を超す熱闘を制したティエムはコートに大の字。4大会決勝3連敗の汚名を晴らし、「人生の目標、夢をかなえた」と笑った。

大坂の7枚



黒人犠牲者の名前を入れた大坂の7枚のマスク。1回戦から準決勝までの6枚(左)。決勝戦では、おもちゃの銃を持って射殺された12歳の少年・ライス君を着用(右)

米戦 大坂、決勝を棄権

全米前哨戦・ウエスタン&サザンOPは8月24日開幕。第4シード・大坂(22歳)は初戦の2回戦で26位・ムホバチニコに6-1、7-6、6-4、6-1で逆転勝ち。3回戦は元コーチのサーシャ・パイレンの教え子・25位のヤストレムスカヤ(ウクライナ)を6-1、6-1で退けた。準々決勝は20位・コンタベイト(エストニア)に4-6、6-1、7-5で逆転辛勝。人種差別に抗議して準決勝を棄権すると発表された。

一日延期し再開。大坂は準決勝で第14シード・メルテンス(ベルギー)を6-1、7-6で下したが、左太もも裏を痛め、59位の元女王・ナザレンカ(ベラルーシ)との決勝を棄権した。

男子はジョコビッチがラオニッチ(カナダ)に1-6、6-1、6-4で逆転勝ち。マスターズ最多35勝はナダルに並ぶ。

錦織、復帰初戦は黒星

錦織圭(30歳・世界34位)が1年ぶりにツアー復帰した。オーストリアのジェネラル・オープン1回戦で47位・ケツマノビッチ(セルビア)と初対戦、6-4、4-6、2-1で逆転負けし復帰戦を飾れなかった。第1セットは出足から5ゲームを連取したが暗転の兆し。第2セットはダブルフォルトで自ら崩れ、最終セットはショットのコントロールも欠いた。

錦織は昨年8月30日の全米3回戦で敗れてから約1年、手術・リハビリを克服して、今年8月下旬の大会で復帰予定だったが、直前でコロナ感染が判明、出場を断念。全米も回避した。一調子はいい。今は100%の感じ」と話していた自己

私はアスリートである前に黒人女性だ

「ウエスタン&サザン」の準々決勝・コンタベイト戦を逆転勝ちしてベスト4入り。大坂は人種差別に抗議して準決勝棄権を表明した。

「私はアスリートである前に黒人女性である。私のテニスを見るよりも

大坂の訴え

もつと注意を向ける多くの重要なことがある」とツイート。大坂は棄権理由について「警官による継続的な黒人へのジェノサイド(大量虐殺)は本当に胃が痛くなる」と強く事件を非難した。

大坂の棄権表明を受け



復帰戦飾れず ジェネラルOP1回戦で47位・ケツマノビッチに逆転負けした錦織

全米・車いす 国枝7度目優勝

全米・車いす部門の国枝慎吾(36歳・ニクビ)はヒュウエット(英)との決勝。最終セットのタイブレークを取って6-3、3-1、6-7、7-6で5年ぶり7度目の優勝。4大会連続24度目。女子の上地結衣(26歳)は決勝でデフロート(オランダ)に敗れた。ホワイリー(英)と組んだ複は優勝。

女子再開戦はフエロが優勝

女子ツアーは約5か月ぶりの再開戦。パレルモ・オープン(イタリア)最終日はフエロ(仏)がコンタベイト(エストニア)を6-1、2-7、7-5で下し、今季初優勝、通算2勝目。

東レ・パンパシ、ジャパPOP中止

女子ツアーの東レ・パンパシフィック主催者は11月予定の大会を中止すると発表した。1984年の第1回大会から中止は初。主催者は「無観客や入場制限での開催などを探ってきたが、選手や関係者らの安全を保証することは難しい。苦渋の決断」とコメント。

当初、9月・東京開催を11月に延期した。国内の秋のツアー大会は男子の楽天ジャパン・オープン、女子のジャパン女子オープンに続き、コナで3大会とも中止となった。

「ナイター教室」36人が修了

最終日は実戦ゲーム

8月8日に始まった土曜4回の市民公園でのナイター教室、8月中に終わる予定だったが、雨のため2週延びて9月12日に閉講した。

受講者は小学生数人(6番コート)を交えた熱心な36人。ストローク、ボール、スマッシュ、サーブを順に学び、それらの連続化・一体化にも取り組んだ。バックボレーとスマッシュが難しいようだ。バックボレーは日常生活では使わない筋肉を使うし、スマッシュはボールとの距離感と一番力が入る空間をつかめばOKだ。

最終日の後半は実戦ダブルス。ポーチに、ロブに、カバリングに：練習の成果を随所に発揮していた。練習の時よりも試合になると実力が出る派？

この日は午前から夕方まで「100歳ダブルス大会」。出場したコーチ陣はやや疲れ気味。苦勞さまでした。



第23回「遊YOUカップダブルス」参加者

「遊YOU」複に熱戦

テニス教室「遊YOU」はコロナ禍で延びて8月19日(水)がようやく今年第一期の最終回。毎期最後は恒例の賞品付きダブルス大会。熱中症とコロナに注意。

参加者は19人。北コートで午後1時半開始。2面に分かれ、ヘアを替えての超短期ダブルスに熱戦を展開した。

3番コートは女子の村松と男子・後藤が同率優勝。4番コートは女子・塚本がVを飾り、「みそ」を持ち帰った。その他、上位者にはカップにちなんだ賞品。プルービー賞は「チューブ入り歯みがき」。腕もよく磨いて下さい、と天の声。

藤井君、最年少2冠

棋聖と王位獲得

瀬戸の至宝・藤井聡太君が最年少2冠に輝いた。7月16日、渡辺明3冠に3勝1敗で棋王を奪い、8月20日・王位戦第4局で木村一基王位に4連勝。最年少2冠を達成。



<藤井君の最年少記録>

15年3月	最年少少将	王者
15年10月	最年少奨励会	三段
16年10月	最年少プロ	三段
17年6月	最年少29連勝	五段
18年2月	最年少で七段	五段
18年5月	最年少で新人王	七段
18年10月	最年少で最速最高	七段
18年12月	最年少で100勝	七段
18年度	初年連続勝利	七段
19年度	初年連続勝利	七段
20年6月	初年連続勝利	七段
20年7月	初年連続勝利	七段
20年8月	初年連続勝利	七段

62年ぶり10代八段

新棋聖は18歳誕生日3日前に実現。屋敷九段の記録を破り30年ぶりに最年少王者に。2日制の王位戦は初の「封じ手」を経験。木村王位に4勝無敗で奪取し、2冠を達成。加藤一二三・九段の最年少八段の記録を破って18歳1か月で62年ぶりに八段に昇格した。

応援する地元瀬戸ではクス玉を割って藤井君の2冠を祝った。

今年度3つ目のタイトルは秋から始まる王将リーグ。王座戦、竜王戦は挑戦権を逃し、名人戦は挑戦権がまだない。



藤井君2冠に沸く瀬戸銀座通り商店街

最長・安倍 辞任



後継は菅・官房長官

安倍総理が7年8か月の最長記録を更新、8月28日に辞任表明。持病の潰瘍性大腸炎悪化が理由。

一族で権力私物化。やっつく



後任は両院総会で菅義偉(官房長官)無派閥。多くの派閥が勝ち馬に乗った。このお方「アベノミクス」を更に前へとおっしゃる。一方の野党、また離合集散。150人規模の一大集団にはなつたが…。(近)

アングルショット

○…144号。久々の8ページ。内容盛りだくさん。但し旭對抗戦は12月13日に延期。

○…市選手権、中村強かった。さすがジョッパー。河村は見かけによらずしぶとい。足がいいだけに痛みやすいか。女子は去年の決勝の再戦。奥村が雪辱のV。足と粘り「壁」の宮城は再起を期す。

○…100歳複、足立・富士組V。高木山下組惜しかった。どちらもベテランの味だ。

○…黒人差別に抗議の大坂が全米2度目の優勝。錦織も復帰。再度トップ10をめざす。(広報担当・近藤)

STKニュース

瀬戸市テニス協会・業務部発行の会報。原則隔月、1975年(昭和50)創刊。98年から定期発行。10号まで梶田俊幸・元理事制作。11号から近藤峰夫理事が編集担当。発送とともに協会ホームページに掲載。

次号は「秋季大会」後